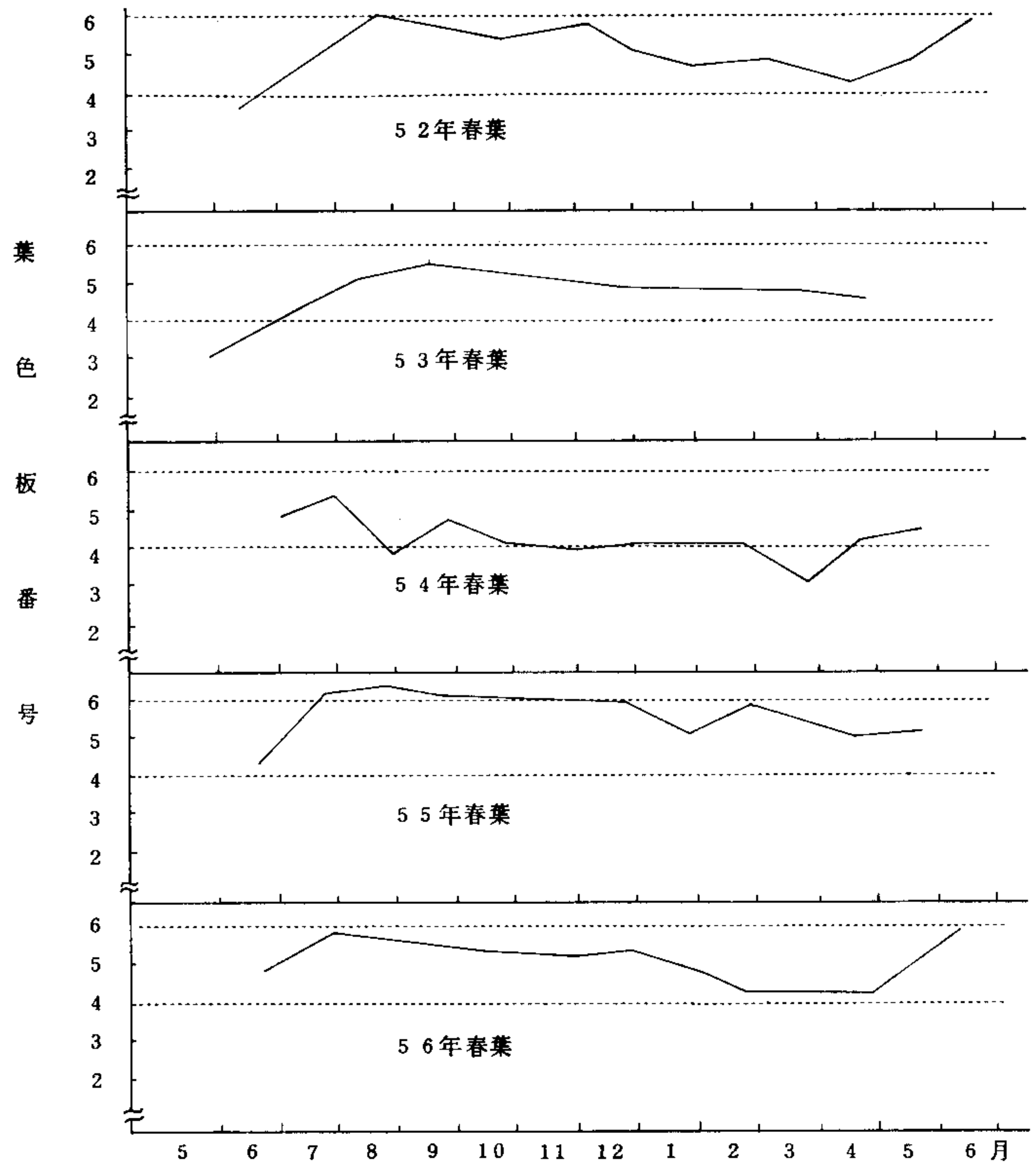


課題名	みかん葉色の適正範囲
成果の要約	<p>高品質果実を安定生産するには、葉色板で秋肥時 5～5.5、春肥時 4.5 前後の葉色値を維持することが望ましい。</p>
成績概要	<p>長崎県試で開発した葉色板を用いて、高品質果実が安定生産されているN3区（県基準）の葉色を5年間調査した。</p> <p>(1) 56年春葉の葉色測定値は4～6範囲内で推移し、52、53年とほぼ同じであった。</p> <p>(2) 5年間の調査結果から、日照不足などの異常気象等の年や、着果過多や間伐などで樹体栄養状態が著しく変動する年を除くと、高品質果実を安定生産するには、秋肥時 5～5.5、春肥時 4.5 前後の葉色を維持することが望ましいと考えられる。</p>

成  
績  
概  
要



第1図 標準区における春葉葉色の周年変化

そ  
の  
他

長崎県果樹試験場成績